

現代と未来で描くまちづくり

— 木城町総合計画策定でのフューチャー・デザイン実践 —



2025.09.14

木城町 地域政策課

まちづくり推進係

係長 文田 恵子

アジェンダ

■木城町の概要

■これまでの経緯と事例（おさらい）

実践を始めた経緯

これまでの実践

実践の成果

■木城町版 FDの特徴

前提条件・参加者の反応

木城町版FD実践のフロー（班分け、事前学習（事前研修）、進行・シナリオ）

討議のまとめ

FD結果の具現化の課題

発想転換装置としての活用・課題

■木城町総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略

木城町総合計画・総合戦略の概要

ワークショップ実践と結果の反映

【参考】

■計画策定後の考察

FDを活かし続けるための課題

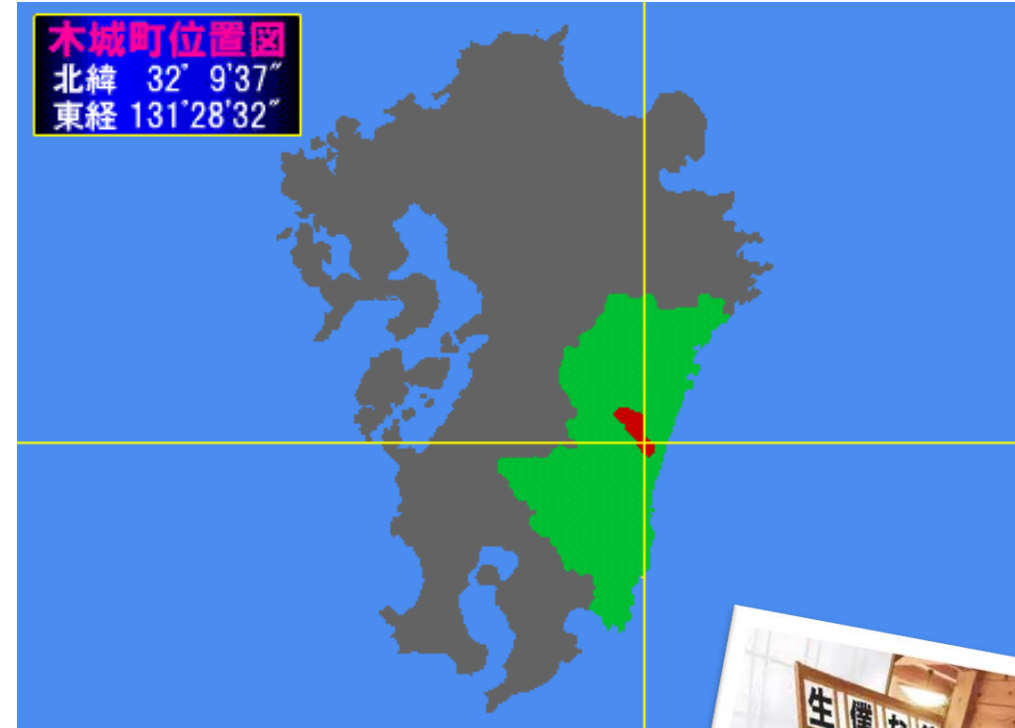
宮崎県木城町の概要

- ▶ 町制施行 昭和48年4月1日
- ▶ 面積 145.96 km²
- ▶ 現住人口 4,480人
(R7.7.1現在)
- ▶ 基幹産業 農業
- ▶ 町内の施設 等

城山公園、川原自然公園、木城えほんの郷

比木神社、石井記念友愛社 等

- ▶ 町の木『カシ』
- ▶ 町の花『コスモス』
- ▶ 町の鳥『アオバト』



これまでの経緯と事例（おさらい）



実践をはじめた経緯

2018年 『フューチャー・デザイン』 の存在を知る。



2021年 町制施行50周年記念プロジェクト会議（職員が参加）の中で
『フューチャー・デザイン』WSの実施を提案。
→ 肯定的な反応が多く、実践できそうな手ごたえ。



町に住む大人も子供も巻き込みたい…
そのためには、スタッフとして職員の参加が必要。



まずは、職員からだな～



2022年2月16日・3月15日 町制施行50周年企画としてFDによる
職員研修を実施。



これまでの実践 1

事例名称	実施日	参加者	テーマ・流れ
職員研修	2022年2月16日 2022年3月15日	38人 職員 会計年度任用職員 (地域おこし協力隊含む)	木城町の未来 DAY1 1.パスト・デザイン 2.フューチャー・デザイン 3.発言マップ作成 →ストーリー作成 DAY2 1.フューチャー・デザイン 2.発言マップ修正 →ストーリー修正
広報のミライを発見したい会議	2022年6月1日	12人 町民 7人 (各種団体から推薦 ※職員2人含む) 関係部署職員 5人 (地域おこし協力隊含む)	未来の広報 DAY1 1.パスト・デザイン 2.フューチャー・デザイン 3.発言マップ作成 →主要ポイント選択

これまでの実践 2

事例名称	実施日	参加者	テーマ・流れ
こどもミライ会議	2022年8月8日	24人 小中学生 10人 (ジュニア・リーダー、 イン・リーダー) 小中学校教員 6人 職員 8人 (地域おこし協力隊含む)	10年後の自分と 木城町 DAY1 1.うまい棒実験 2.パスト・デザイン 3.フューチャー・デザイン →主要ポイントの選択
町制施行50周年 記念プロジェクト 50人委員会	2023年1月31日	21人 町民 14人 (各種団体から推薦) 関係部署職員 7人 (地域おこし協力隊含む)	50年後の木城町 DAY1 1.パスト・デザイン 2.フューチャー・デザイン 3.発言マップ作成 →主要ポイント選択

実践の成果

職員研修

参加した職員が“スタッフ”として活動。

広報のミライを発見したい会議

【未来人からのメッセージ】

『紙面は必要』（災害時にはデジタルは動かない 等）

デジタル化しても『人の温かさ』『双方向のつながり』がある

未来人からのメッセージを元に、今後の広報誌等の方向性を検討。

（FD後に、主に担当者が検討）

『紙面作成』と『デジタル化』を継続運用

広報誌（紙面）を残しつつ、ウェブ上でも
見やすい紙面へ刷新（令和5年度）

木城町版フューチャー・デザインの特徴



前提条件・参加者の反応

1. 小さな町だからできること

- 日常生活での関わりが近い
- 課題に感じていることが共通している。

2. おおらかな参加者（地域性？）

新しい取り組み、未来人という突拍子な設定だが

→予想外に受容れてくれる方が多かった。

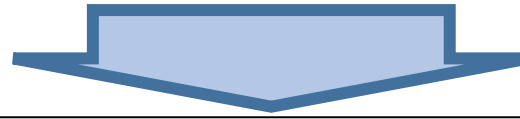
3. スタッフ（職員）の協力

他課の職員に協力を依頼。（特にWS経験者）

→参加してくれた職員と各部局の上長の協力を得られた。

木城町版FD実践のフロー

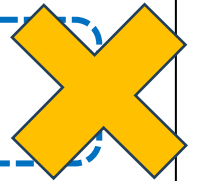
準備：スケジュール作成、募集、【班分け】、資料作成
【進行・シナリオ】作成等



実践：

- 1 パスト・デザイン
- 2 フューチャー・デザイン
- 3 発言マップ作成、メッセージ・ストーリー作成

事前学習【現代世代の討議】



まとめ：【討議のまとめ】、計画・事業への反映・予算化

準備【班分け】

1. 年齢・性別

年代・性別を混成することで、討議が盛り上がる。

■一部混成しなかったWS…**こどもミライ会議**

(教員だけの班、子供とスタッフ(町職員)の班)

2. 時間志向テスト

職員研修で活用。志向型が偏らないように班編成。

3. スタッフ（経験者）の配置

職員研修でFD経験した職員を各班に1名ずつ配置。

→**職員研修以外の全てのWS**

主な作業：討議の調整役、発言マップ作成補助

事前学習【現代世代の討議】

参加者の負担

会議回数が多いと
参加者の負担が増える

担当者の負担

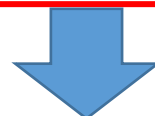
資料作成、会場設営等
準備の手間がかかる

予算の制限

委員報酬や会場費用等、
費用上限がある



事前学習を「やらない！」という選択



事前学習をしない代わりにできることの模索…

事前学習をしないけれど…

現代の情報を折り込んだ『進行・シナリオ』にしたら、
意図せず現代世代のイメージが入ってこないかな…。



準備【進行・シナリオ】

1. パスト・デザインのテーマ、進行

現代にも存在して、FDにもつながる情報を選択する。

進行の中で、現代につながる情報を提供する。

2. 未来までに起こるイベント（条件設定）

現代世代でも危惧されている案件を入れ込む。

3. FDへの導入はシナリオの音読で

FD開始時に、未来へ移動する行程を読み上げる。

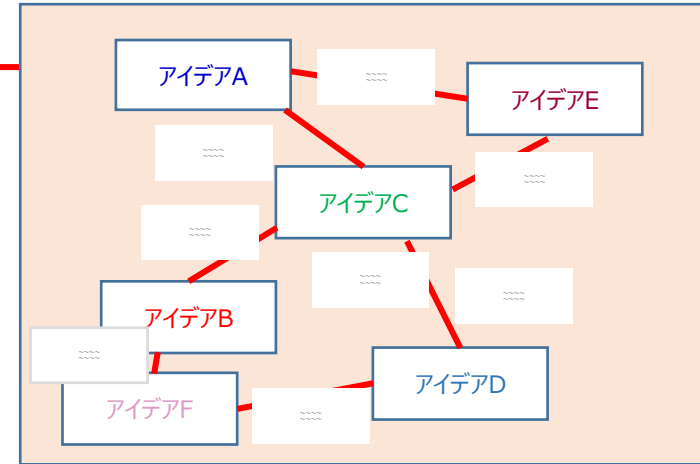
まとめ【討議のまとめ】



討議結果を
まとめるのが
大変そう…



『**発言マップ**』を
各班で作ってもらおう！



【発言マップ作成の利点】

1. 後から見返せる。

→ **2回目以降の討議で活用**

2. ストーリー作成の補助

→ **発言マップを元に、現代世代へのメッセージ作成
(職員研修では発言マップからストーリーを作成)**

3. 討議当日の成果物として残るため、達成感が持てる。

4. 一般の方も作りやすい。

FD結果の具現化の課題

FD結果と事業や計画との擦り合せ・検討は

1. どうやるの？



事業や計画に
どうやって
取り込もうか
...

そうなるためには…そうならないためには…
その未来の姿を想像した根拠を

『発言マップ』や『ストーリー』から**“探る・分解する”**

2. 誰がやるの？

- **実践主体（自治体、企業等）の担当者等が探る。**
- **FD参加者と一緒に討議の中で探る（未実施）。**

発想転換装置としての活用

【FDとバックキャストिंगの概念図】

フューチャー・デザイン

未来予想図

(よい未来・悪い未来)

未来人として発想

利他性の発揮

よい未来のために
何ができるか？

現代世代としての
利害(損得勘定)からの解放

利他性とは…

人間の心の中にある、他人のために他人を思いやる
気持ち・欲求のこと。

【推察】FDの長所(利他性の発揮)をより活かすには…

- ・ 未来人としての発想を広げる
- ・ 現代へのフィードバック作業 ◀ の精度をあげる

定められた目標

現代人からの視点で発想した
未来の目標

未来人の視点で発想した
アイデア・目標・課題

現代世代としての
利害(損得勘定)に
最も合致したもの

例) SDG s

バックキャストिंग

目標達成のための
アイデア・課題

目標実現のために
何ができるか？

現代(今)

発想転換装置としての課題

【課題】 未来に行っても、現代世代にとらわれがち。

現代世代の利害（損得勘定や既成概念）を
排除（解除）した発想をより引き出せる手法の検討…。

【活用と展望】 日常の中で、FD発想できること

各種委員会、地区の集り、高齢者のサロン、学校 等

ちょっとした集まりでFDの発想「未来人から見たらどう？」と
話ができると素晴らしい！

木城町総合計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略



基本構想・基本計画_構成1

1) 基本構想

- **地域ビジョン（理念・将来像）**：町民参加型のWSの結果を反映。
- **人口ビジョン**：国提供の推計を基に算出。

2) 基本計画を極限までスリム化

- 基本計画は、分かりやすく・文字を少なくする。
1施策 1～2KPIとする。KPIは100項目程度におさめる。
- 施策の方向性のみ明示（具体的な個別事業名は実施計画で計上する旨を記載）
**町長マニフェスト・国の総合戦略等が変わっても対応できる文面を掲載し、
短期（5年）の改訂時に、基本計画に反映させていく。**

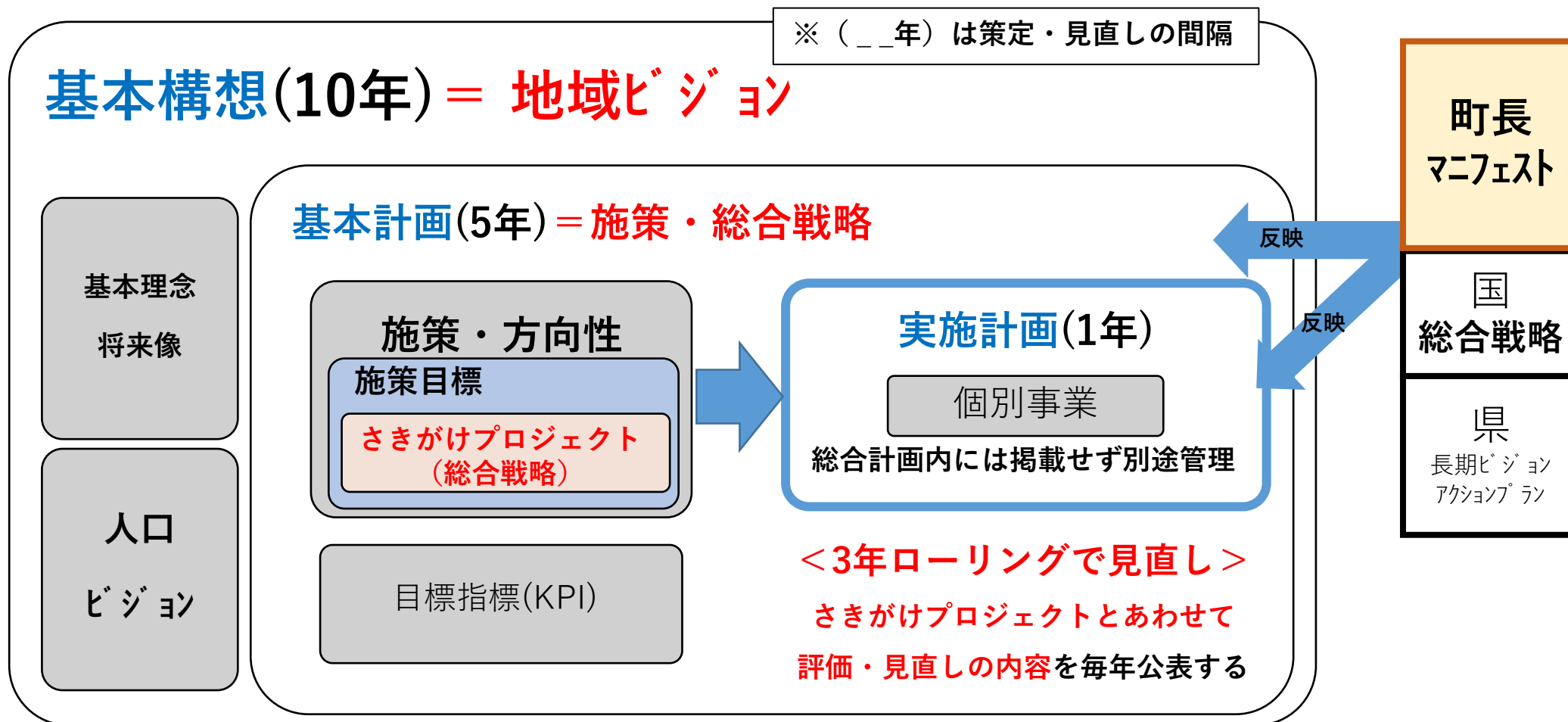
3) 実施計画(アクションプラン)の活用

- 基本計画に出さない具体的な個別事業（○○○事業）をこちらで包括
- 基本構想・基本計画とは切り離して管理
**単年度評価（公表）と次年度計画への反映（予算化）を体系化する。 → DX
町長マニフェスト・国の総合戦略等を適宜反映させる。**

基本構想・基本計画_総合戦略の位置づけ

デジタル活用を分野横断的に入れた施策とし、『さきがけプロジェクト』を総合戦略とする。

『実施計画』と『さきがけプロジェクト』は3年ローリングで評価・見直しをする。(毎年)



策定経過_会議等の実施概要

会議名	実施日	参加人数	備考
策定員会・創生推進本部会議 1	2024年 5月 2日	三役・課長局長	
審議会・創生推進会議 1 ワークショップ 1 (FD)	5月31日	委員13人、町長	WSの詳細は別紙記載
ワークショップ 2 (FD)	7月10日		詳細は別紙記載
タスクフォース会議 1	7月19日	職員9人	WS (フューチャー・デザイン) 内容まとめ
審議会・創生推進会議 2 ワークショップ 3 (マチュア・ソサエティ)	8月20日	委員14人	WSの詳細は別紙記載
タスクフォース会議 2	9月10日	職員11人	WS (マチュア・ソサエティ) 内容まとめ
策定員会・創生推進本部会議 2	9月24日	三役・課長局長	
審議会・創生推進会議 3	11月19日	委員11人	
策定員会・創生推進本部会議 3	11月29日	三役・課長局長	
パブリックコメント	12月20日～1月13日	－	詳細は別紙記載
審議会・創生推進会議 4	2025年 1月16日	委員13人	
答申提出	1月17日	審議会 会長・町長	
策定員会・創生推進本部会議 4	1月29日	三役・課長局長	
議会提案	2025年 3月		

策定経過_ワークショップ (WS) ・パブリックコメント 実施概要

名称	実施日	参加者・件数	テーマ・流れ
WS フューチャー・デザイン	2024年5月31日	14人 町民 14人 (各種団体から推薦)	未来からみたまち DAY1 1.パスト・デザイン 2.フューチャー・デザイン
WS フューチャー・デザイン	2024年7月10日	40人 町民 17人 (各種団体から推薦) 職員 23人	未来からみたまち DAY1 1.パスト・デザイン 2.フューチャー・デザイン
WS マチュア・ソサエティ	2024年8月20日	68人 町民 15人 (各種団体から推薦) 職員 23人 (会計年度任用職員 含む) U23 4人 木城学園 26人 (7～9年生)	まちづくりゲーム 全17班(1班3～4人)
パブリックコメント	2024年12月20日～ 2025年 1月13日	受付件数 0件	－

参加者

・ 一般公募

申込者： なし

・ 役場職員

主事～補佐、
会計年度任用職員

・ 議会

議員 代表2名

・ 木城学園

7年生～9年生
(児童生徒会)

・ U23 (公募)

高校生・大学生

・ 団体からの推薦 (24名)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1.木城町商工会 1 | 13.木城町商工会 青年部 1 |
| 2.木城町認定農業者協議会 1 | 14.木城町商工会 女性部 1 |
| 3.木城町社会福祉協議会 1 | 15.宮崎県農協 女性部 1 |
| 4. 一社) 木城町ふるさと振興協会 1 | 16.めばえ保育園父母の会 1 |
| 5.木城町農業委員会 1 | 17.どんぐり保育園父母の会 1 |
| 6.木城町民生委員児童委員協議会 1 | 18.のゆり幼児園父母の会 1 |
| 7.木城さんさんクラブ連合会 1 | 19.木城町こども会育成連絡協議会 1 |
| 8.みどりの杜木城学園PTA 1 | 20.木城町社会福祉協議会 1 |
| 9.木城町自治公民館連絡協議会 1 | 21.みどりの杜木城学園PTA 1 |
| 10.木城町地域婦人連絡協議会 1 | 22.高鍋・木城有機農業推進協議会 1 |
| 11.高鍋・木城有機農業推進協議会 1 | 23.木城町文化協会 1 |
| 12.木城町地場産業振興会 1 | 24.木城ボランティアにぎやかし隊 1 |

実践したワークショップの種類

- ・ 住民や関係者の意見を反映するために、2種類のワークショップ（フューチャー・デザインとマチュア・ソサエティ）を活用。

フューチャー・デザインの結果→

基本構想（将来像・基本理念）、基本計画（基本目標）に反映。

マチュア・ソサエティの結果→

基本計画（施策）、実施計画（事務事業）の参考として使用。

・ フューチャー・デザイン・・・

「将来世代の視点や利益」を現代の意思決定に反映し、未来社会のデザインとその実現を図るための実践手法。デザインした未来社会にいる「未来人」から「現代人」へ向かって意見（「何をしてほしかった（してほしくなかった）」等）を考えることで長期的な視点や利他性のある意見を出せる手法となっている。

・ マチュア・ソサエティ・・・

「人口減少社会における政策立案」を主眼とした政策提案ゲーム。
参加者の意識を高めながら、「住みよい都市基盤と自然」、「商工・観光・産業の振興」等各分野を巡って、楽しみつつ施策アイデアを生み出せる点数制のゲームとなっている。

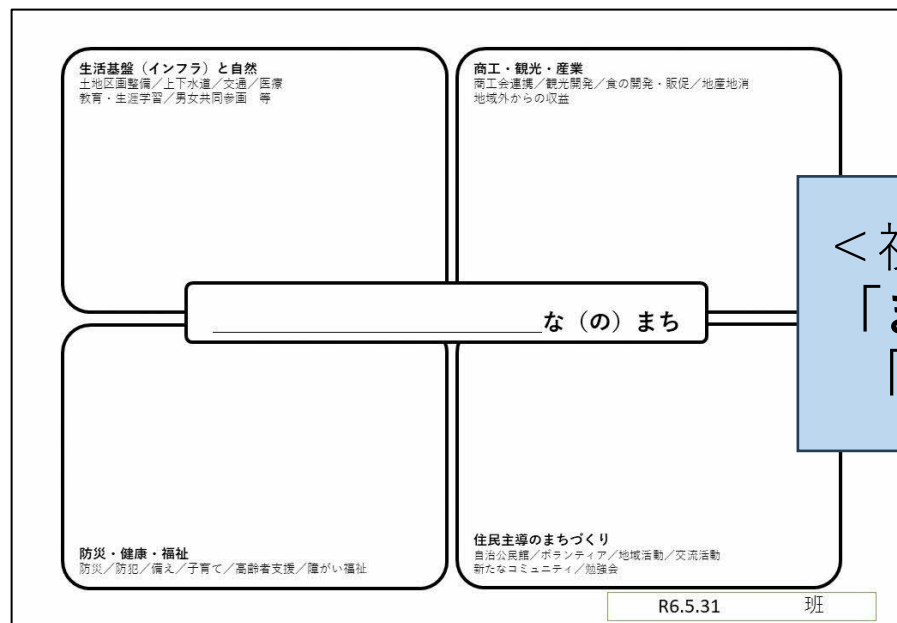
フューチャー・デザイン まとめシート

- ・ **フューチャー・デザインとマチュア・ソサエティをつなげるためのまとめシートを作成**

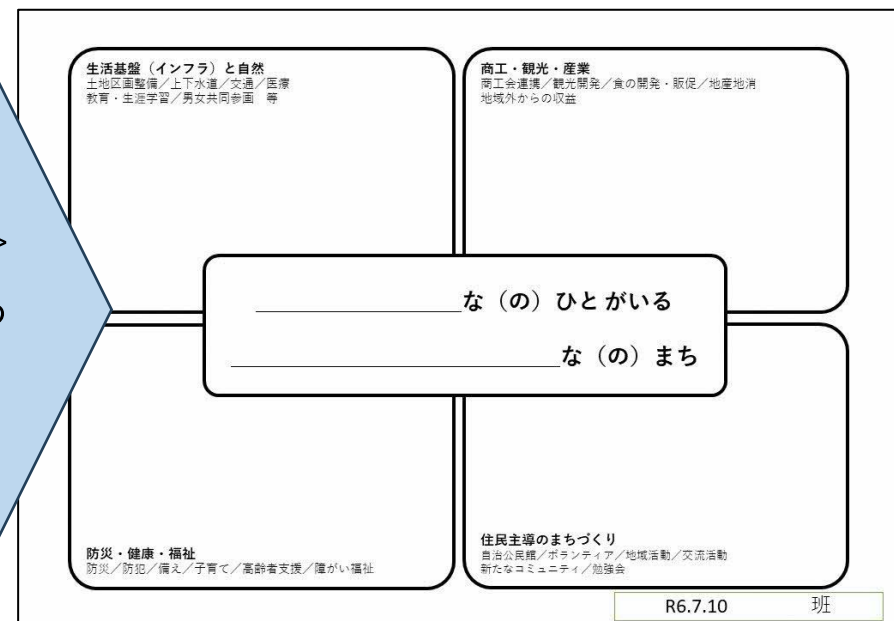
2種類のワークショップ手法をつなげるため、フューチャーデザインのまとめシートを、マチュア・ソサエティのワークシートの分類で作成した。

- ・ **1回目から2回目へのステップアップ！！**

2回のフューチャーデザインの中で、1回目は「**〇〇〇〇な（の）まち**」という「みらいのまちの姿」を出してもらった。2回目については、さらに『**●●●な（の）ひとがいる**』『**〇〇〇〇な（の）まち**』という追加課題を増やし、1回目の参加班には1回目からの深化を求めた。



＜視点の移行と深化＞
「まち(マクロ)」から
「ひと(ミクロ)」へ



フューチャー・デザイン 0531 結果_一覧

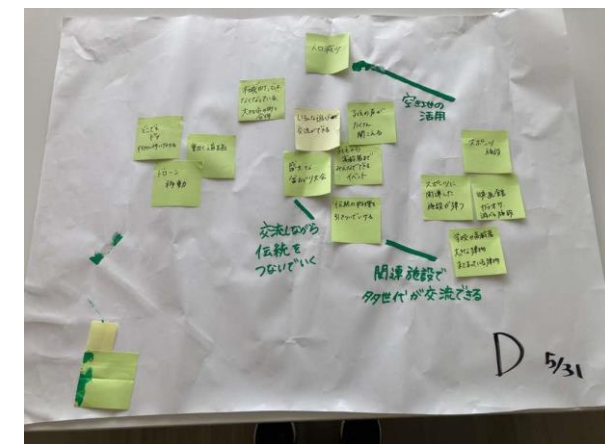
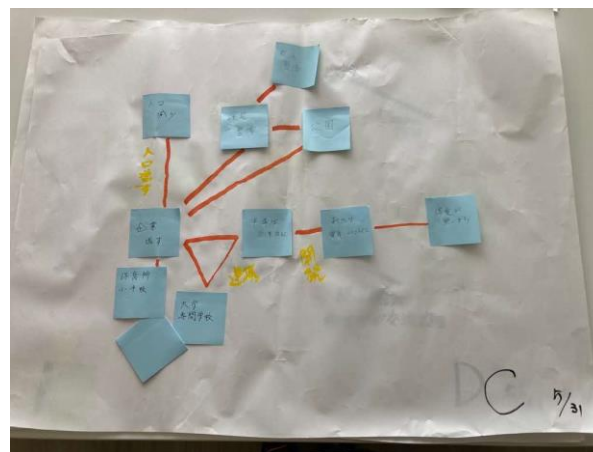
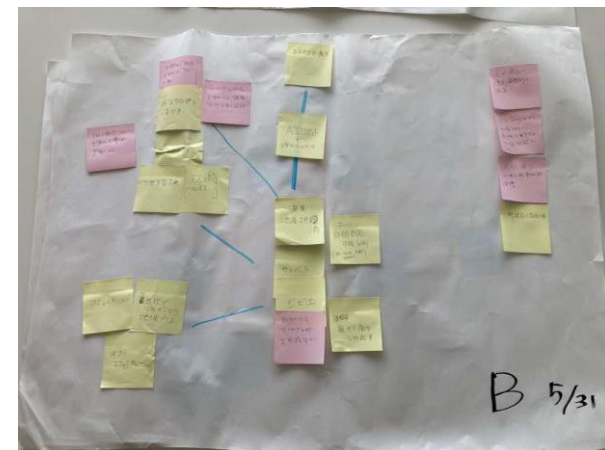
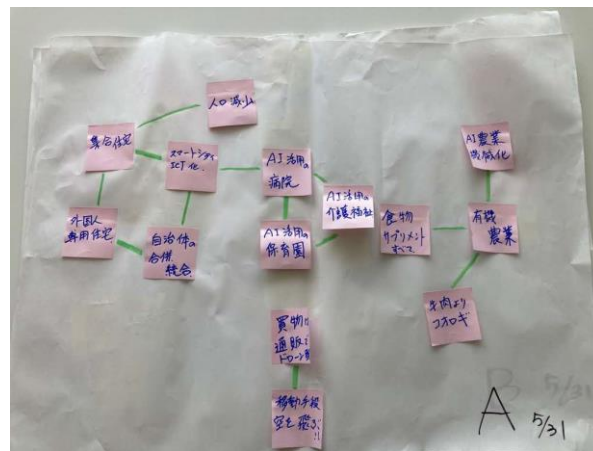
A：自然を活かしたスマートシティ

B：ジビエで生きるまち

C：電気のある豊かなまち

D：スポーツが盛んなまち

参加者 14名(町民)



フューチャー・デザイン 0710結果_一覧

A： 自然を活かしたスマートシティ

B： 達人がいる 食のまち

C： 優秀なAIと考える力のあるひとがいる 停電のない防災力の強いまち

D： 他民族・多国籍なひとがいる 木城のなごりが残るスマートシティ

E： 動物と共存するまち

F： 元気なひとがいる 食糧基地のまち

G： 知識・技術・自然好きなひとがいる 自然豊かなまち

H： デジタルなひとがいる 地域のつながりがあるまち

I： おおらかなひとがいる 自然のサファリパークなまち

J： SDGsなひとのいる かしの実のまち

K： オリンピアンがいる 半農半Xのまち

参加者 40人

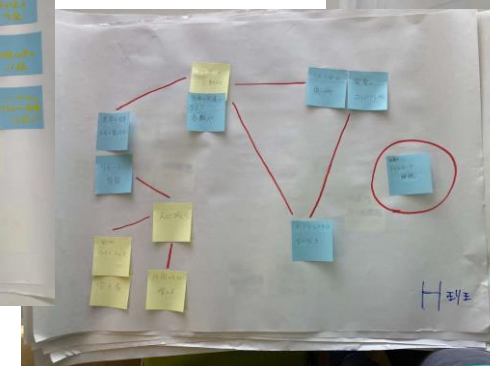
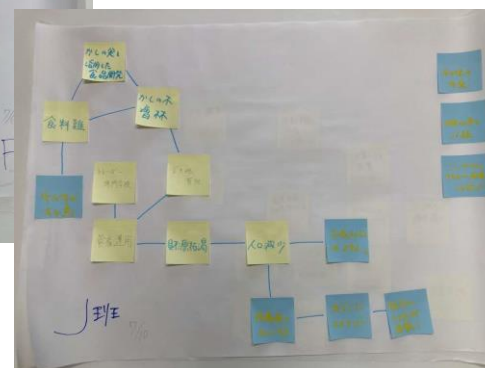
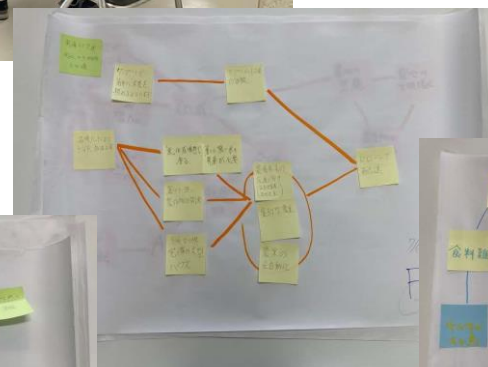
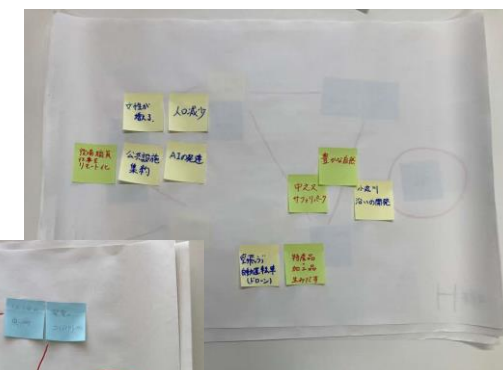
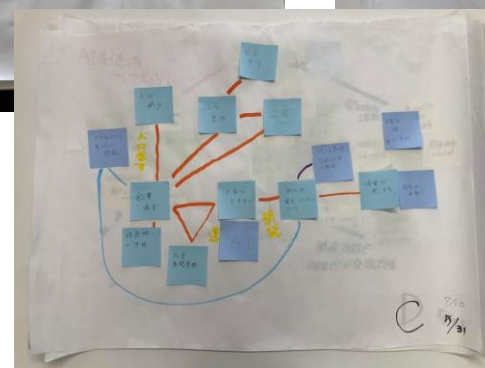
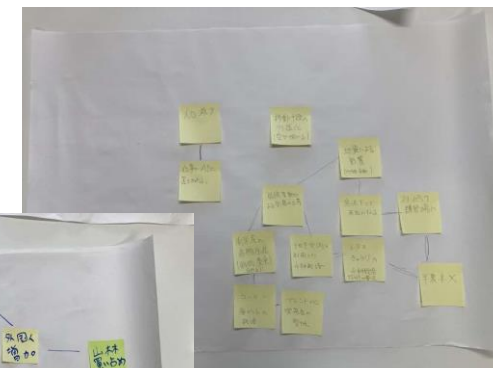
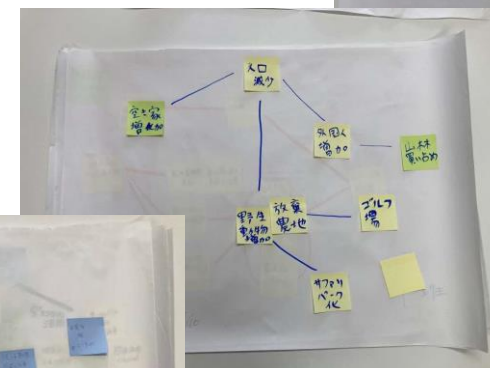
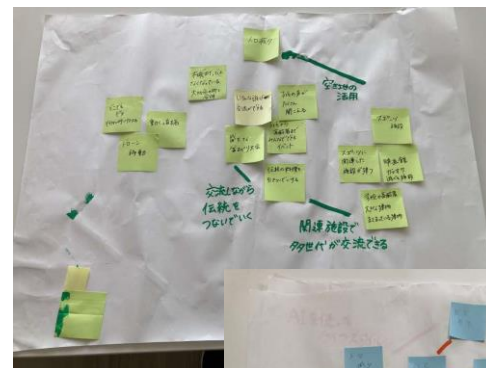
町民 17人

(各種団体から推薦)

職員 23人

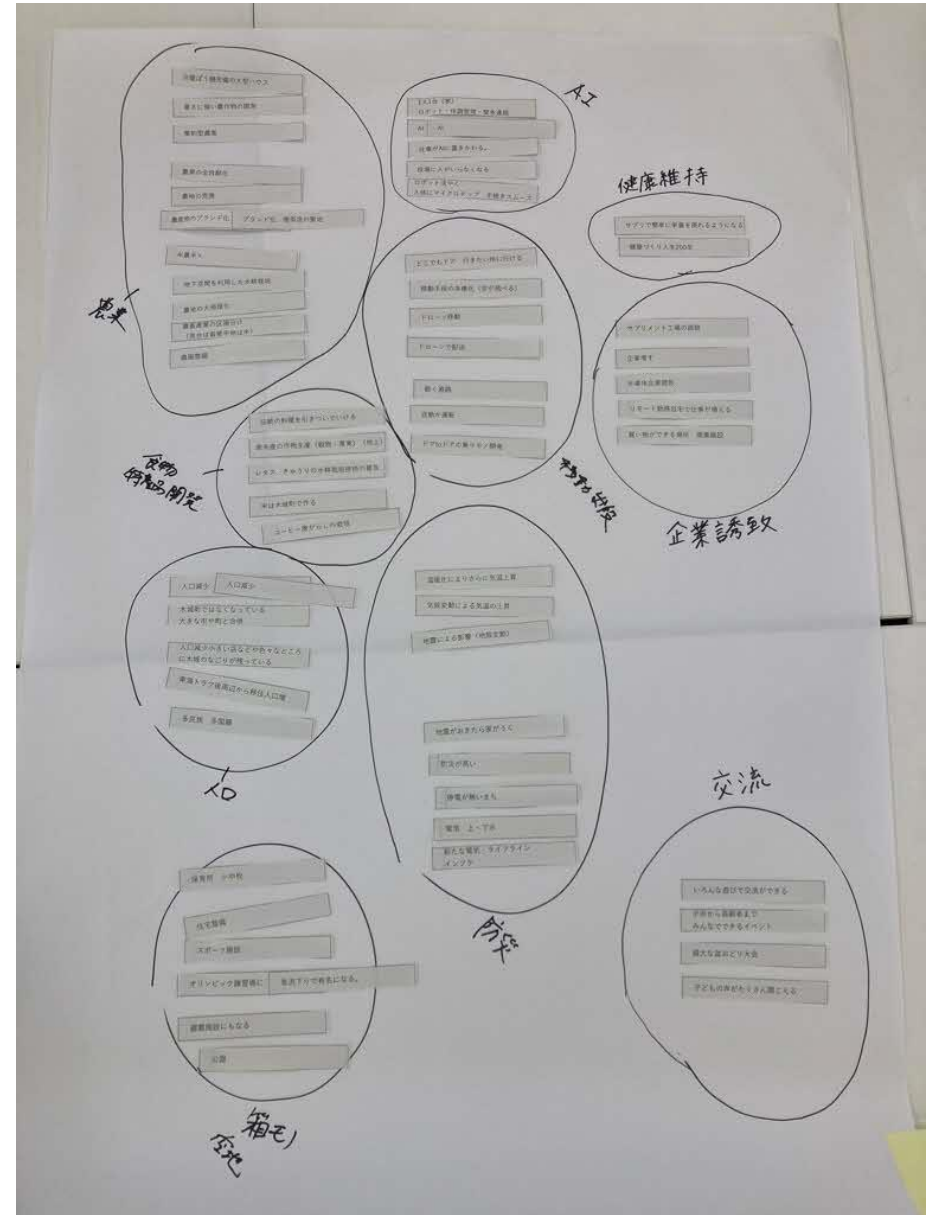
ワークショップ実践と結果の反映

フューチャー・デザイン 0710結果_一覧



フューチャー・デザイン 結果_キーワード抽出1

7/10FDに参加した若手職員（9名）とグループ分け作業を実施し、キーワードを抽出。

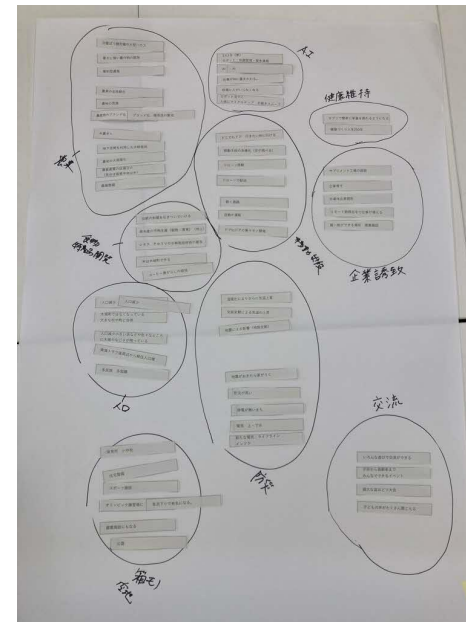
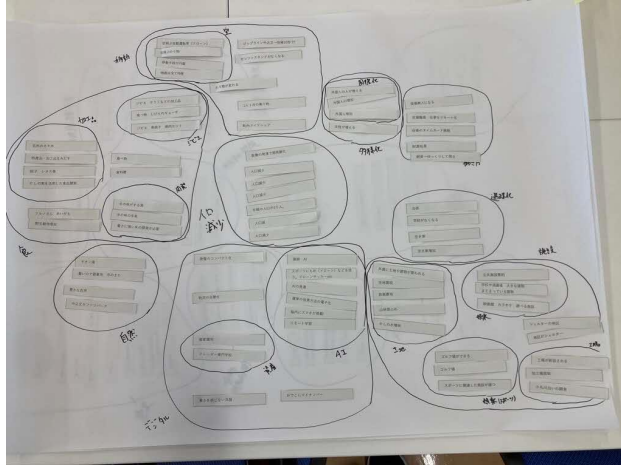


フューチャー・デザイン 結果_キーワード抽出2

- ・ 移動手段
- ・ 多様化、国際化
- ・ 交流(多世代、祭、あそび)
- ・ 健康維持
- ・ 食(加工品、ジビエ、開発)
- ・ 施設(スポーツ、住宅、公園、避難所)
- ・ 施設(コンパクト化、土地活用、娯楽、スポーツ)

・ デジタル、AI

- ・ 働き方
- ・ 自然



- ・ 人口 (人口増、多国籍)
- ・ 企業誘致
- ・ 移動手段
- ・ AI
- ・ 農業
- ・ 食物、特産品開発

- ・ 人口減少(超高齢化)
- ・ 過疎化
- ・ 人口 (人口減)

フューチャー・デザイン 抽出キーワード_分類

類似する キーワードをグループ化

- 食物、特産品開発
- 食(加工品、ジビエ、開発)

- 施設(スポーツ、住宅、公園、避難所)
- 施設(コンパクト化、土地活用、娯楽、スポーツ)
- 企業誘致

• 農業

• 自然

• 健康維持

- AI
- デジタル、AI

- 人口 (人口増、多国籍)
- 多様化、国際化

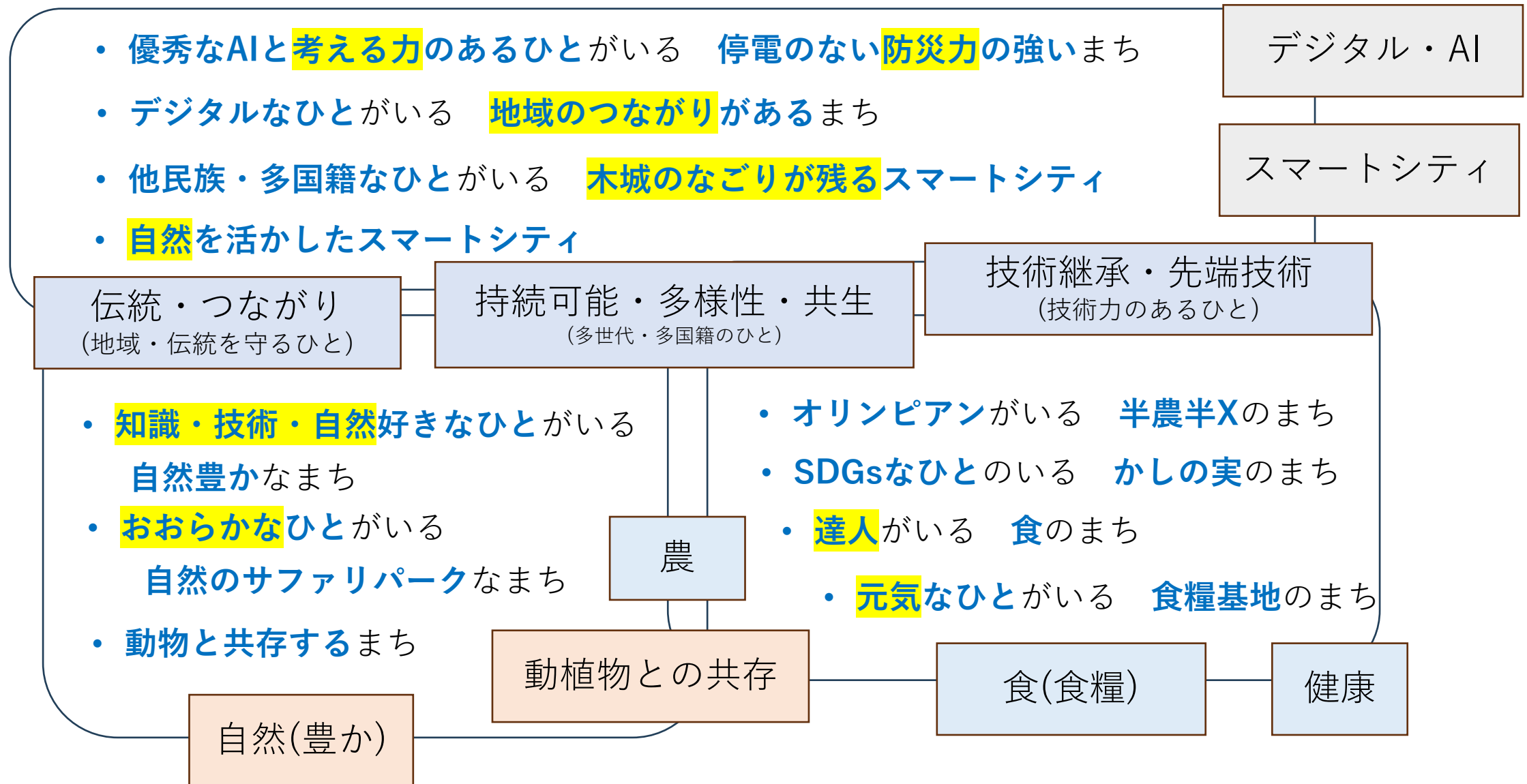
- 交流(多世代、祭、あそび)

• 移動手段

- 人口 (人口減) • 過疎化
- 人口減少(超高齢化)

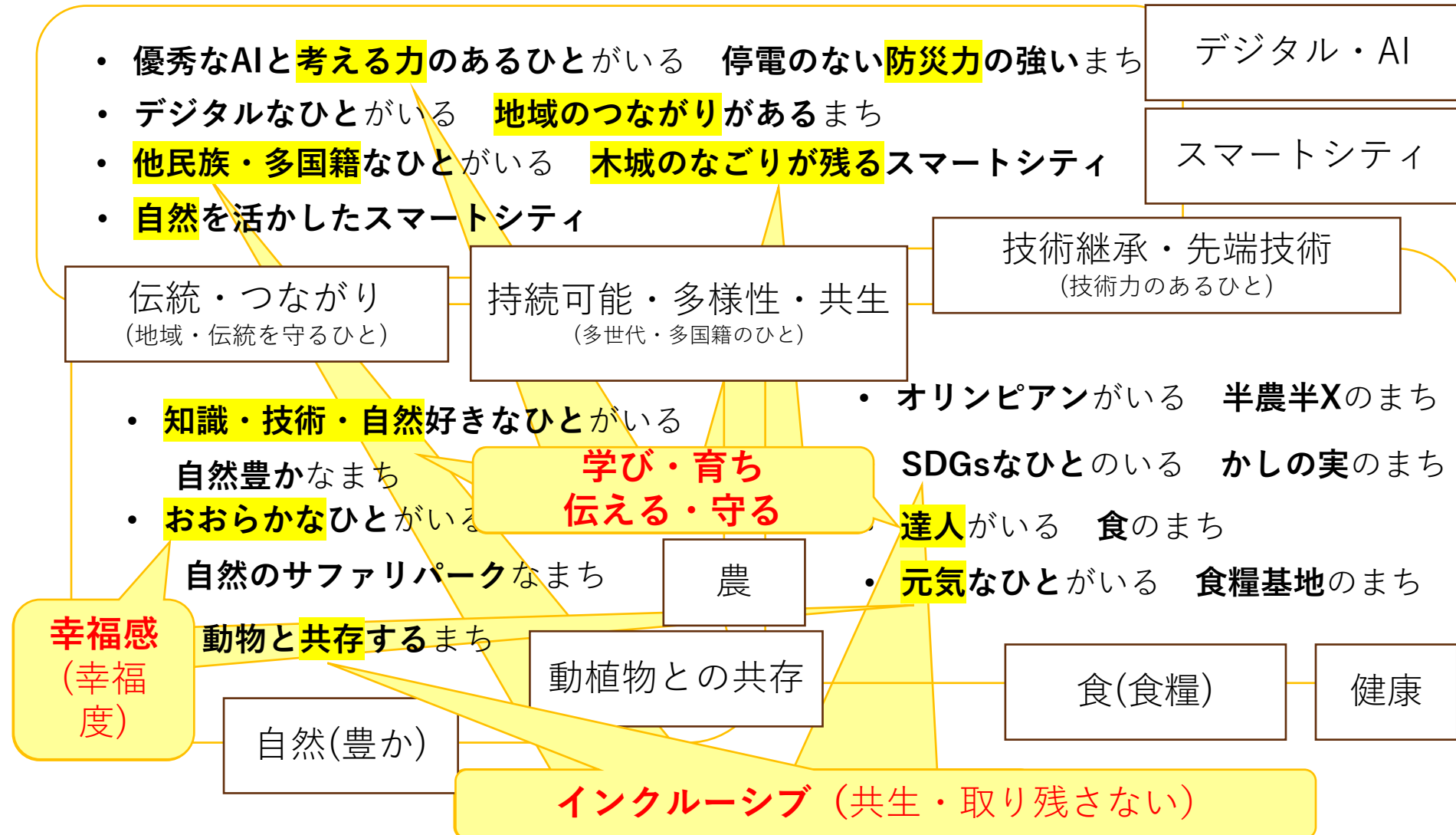
• 働き方

フューチャー・デザイン 結果_グループ分け



フューチャー・デザイン 結果_グループ分け2

キーワードの言い換え、派生するワードを吹き出しで表記



マチュア・ソサエティ_0820

68人

町民 15人
(各種団体から推薦)

職員 23人
(会計年度任用職員 含む)

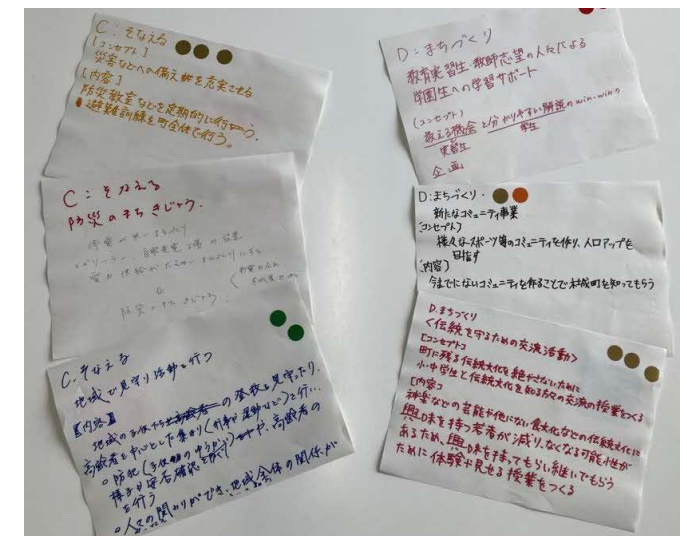
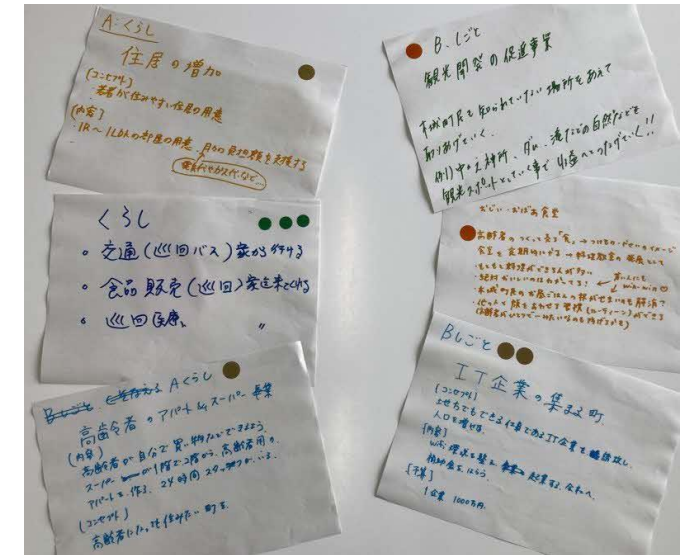
- U23 4人
- 木城学園 26人
- (7~9年生)

<FD (7/30) の結果との連動>
スライドで表示し説明・グループ分け表を配布
未来人の視点を意識してもらう。



出してもらったアイデアは、実施計画（個別事業）で
活用していけるよう、とりまとめてデータ管理

マチュア・ソサエティで
出されたアイデア達（約200件）



基本構想・基本計画へのWS結果反映

フューチャー・デザインで得た結果（キーワード抽出）を基本構想・基本計画の中に使用する。

<キーワード1> フューチャー・デザインで出てきたキーワードから町の政策として使用していける単語に変換したものも含む。

<キーワード2> フューチャー・デザインで出てきたキーワード。

<キーワード1>

『インクルーシブ（共生）』、『学び・育ち、元気・健康』、『幸福感』
『つながり・交流、多様性』、『伝える・守る、技術力』、『持続可能性』

基本構想 = 地域ビジョン

基本理念（設定数：3）

将来像（設定数：1）

人口
ビジョン

基本計画 = 施策目標・施策・さきがけプロジェクト（総合戦略）

基本目標（設定数：3）

さきがけプロジェクト（設定数：6）

施策（設定数：88）

・現状と課題
・方向性、KPI（指標）

<キーワード2>

スマートシティ、農、食、
働き方、先端技術（デジタル含む）、
地域・伝統、土地活用

町長
マニフェスト

国
総合戦略

県
長期ビジョン
アクションプラン

反映

基本構想・基本計画_キーワードからの考察と設定1

フューチャー・デザインの結果や討議の中で、『つながり』『共存』『SDGs』『多様性』等の『共生』につながるキーワードが多く出てきたため、『**インクルーシブ（共生）**』を構想の上位に設定することとした。また、そのほかのキーワードから3つの基本理念を設定する。

このほか、フューチャーデザインの結果と＜キーワード1＞との関係は下記のとおり。

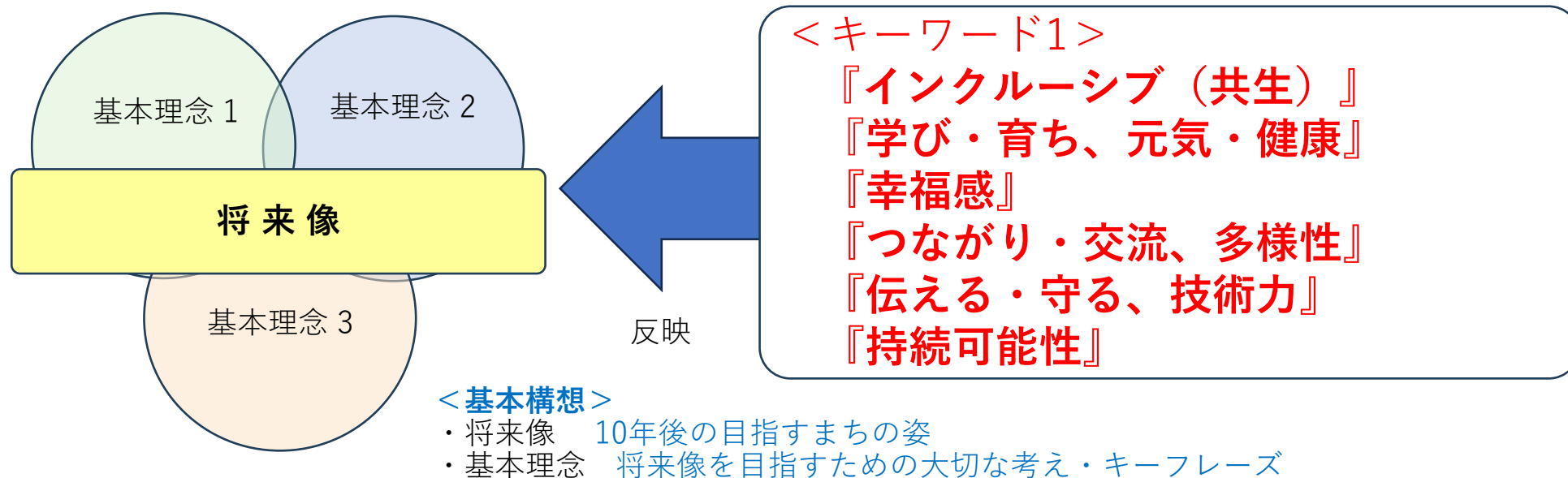
『**学び・育ち、元気・健康**』：考える力、知識・技術、元気なひと、食（食糧）

『**幸福感**』：おおらかな、自然好きなひと

『**つながり・交流、多様性**』：地域のつながり、共存、半農半X、他民族・多国籍

『**伝える・守る、技術力**』：達人（オリンピック）、防災力、木城のなごりが残る、スマートシティ（AI、デジタル）

『**持続可能性**』：自然（自然好き、自然豊か）

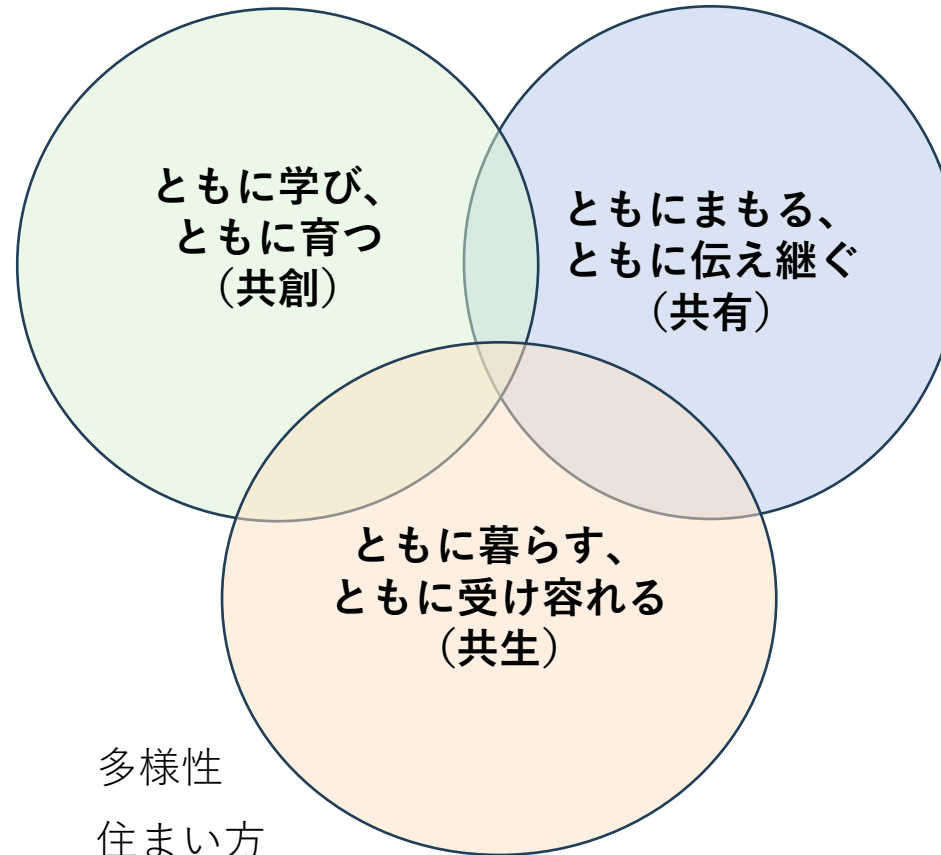


基本構想・基本計画_キーワードからの考察と設定1-2

< 基本構想 >

- 将来像 _____ **包み込むまち (?)** ※インクルーシブのイメージ
- 基本理念

知る力・情報発信力
考える力
食と自然



持続可能性 (未来志向)
働き方
継承・伝承

多様性
住まい方
スマートシティ・土地活用

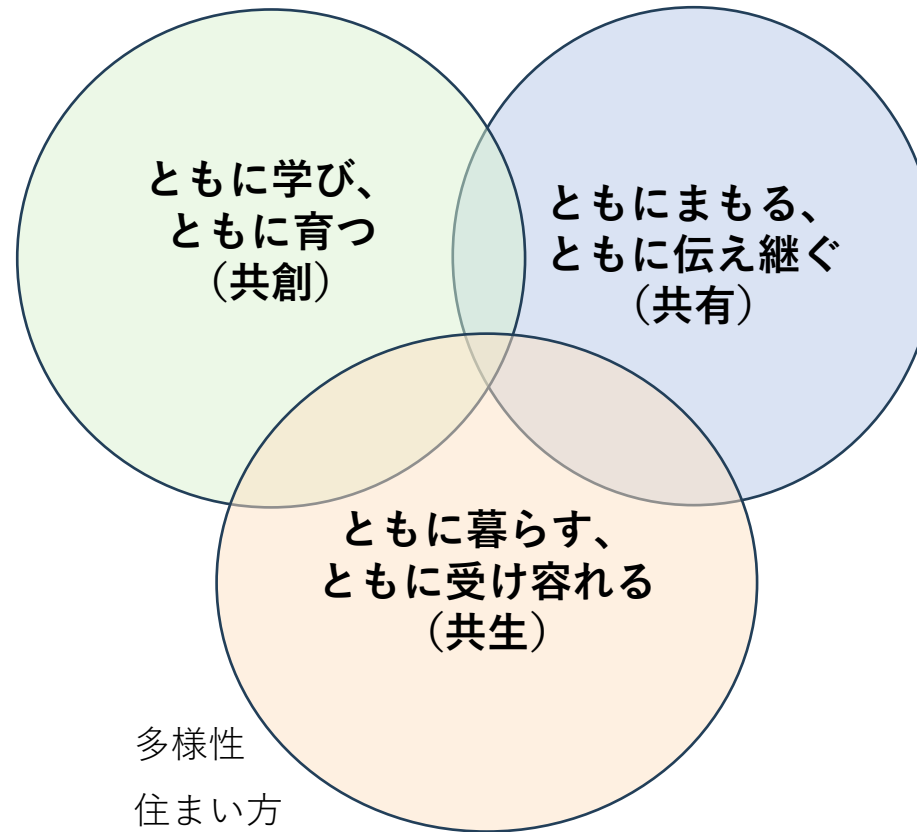
基本構想・基本計画_キーワードからの考察と設定 2

< 基本構想 >

- 将来像
- 基本理念

Inclusive Town Kijo

知る力・発信する力
考える力
食と自然



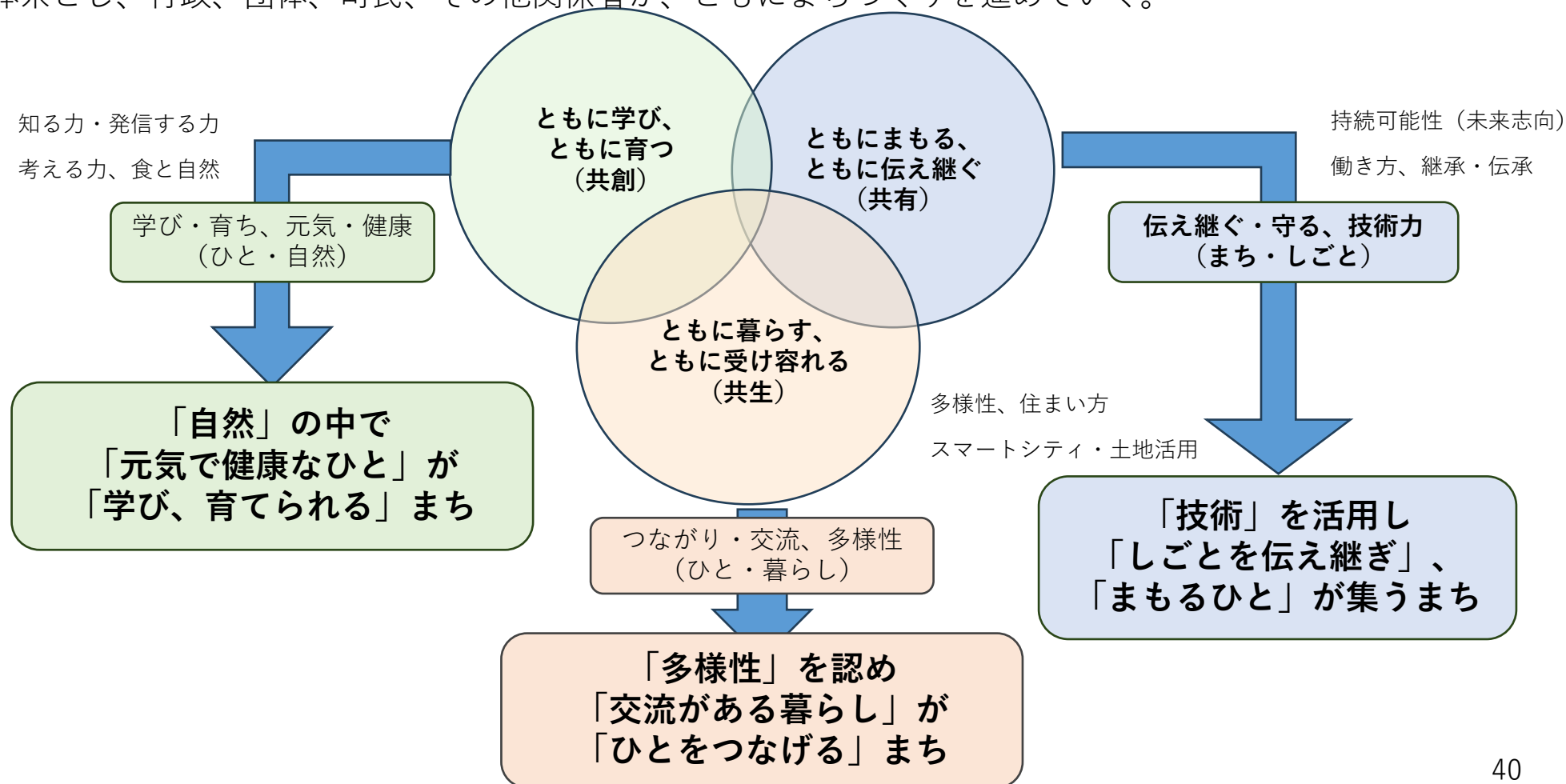
多様性
住まい方
スマートシティ・土地活用

持続可能性 (未来志向)
働き方
継承・伝承

基本構想・基本計画_基本理念と基本目標の関係

基本構想で謳う「基本理念」に即して、3つの基本目標を設定する。

『「自然」の中で「元気で健康なひと」が「学び、育てられる」まち』、『「多様性」を認め「交流がある暮らし」が「ひとをつなげる」まち』、『「技術」を活用し「しごとを伝え継ぎ」、「まもるひと」が集うまち』の3つの基本目標の指標向上を目指し、関連する分野の施策をそれぞれに配置する。関連する分野を各目標毎に配置することで、分野を横断して施策を検討・推進できる施策体系とし、行政、団体、町民、その他関係者が、ともにまちづくりを進めていく。



基本構想・基本計画_基本目標・分野・施策の相関図

Ⅰ.「自然」の中で「元気で健康なひと」が
「学び、育てられる」まち

Ⅱ.「多様性」を認め「交流がある暮らし」が
「ひとをつなげる」まち

Ⅲ.「技術」を活用し「しごとを伝え継ぎ」
「まもるひと」が集うまち

1. 子育て・教育・文化分野	1. 子育て・教育・文化分野	1. 子育て・教育・文化分野
1 子どもから青年までの支援充実	1 子どもから青年までの支援充実	1 子どもから青年までの支援充実
2 義務教育の充実	2 義務教育の充実	5 歴史・伝統・文化の振興
3 生涯学習・スポーツの推進	3 生涯学習・スポーツの推進	
4 人権が尊重される社会づくり	4 人権が尊重される社会づくり	
2. 健康福祉分野	2. 健康福祉分野	2. 健康福祉分野
6 地域福祉の推進	6 地域福祉の推進	6 地域福祉の推進
7 健康づくりの推進	7 健康づくりの推進	
8 高齢者福祉の充実	8 高齢者福祉の充実	
9 障がい者（児）福祉の充実		
3. 生活基盤分野	3. 生活基盤分野	3. 生活基盤分野
10 計画的な土地利用の推進	10 計画的な土地利用の推進	10 計画的な土地利用の推進
	11 住環境の充実	13 上下水道の維持・充実
	12 計画的な道路の整備	15 防災対策・危機管理の推進
	14 公共交通の充実	16 防犯・交通安全対策の推進
4. 産業分野	4. 産業分野	4. 産業分野
17 農林業の振興	18 商工業・観光業の振興	17 農林業の振興
	19 産業連携の促進と働く場の充実	18 商工業・観光業の振興
		19 産業連携の促進と働く場の充実
5. 環境分野	5. 環境分野	5. 環境分野
20 4R運動の推進と廃棄物の抑制	21 環境保全の推進	20 4R運動の推進と廃棄物の抑制
		22 脱炭素・地球温暖化防止対策の推進
6. 協働・行財政分野	6. 協働・行財政分野	6. 協働・行財政分野
23 行政経営の推進・改革	24 町民参画によるまちづくりの推進	25 公共施設マネジメントの推進
27 情報発信力の強化	27 情報発信力の強化	26 財政の健全化
28 自治体DXの推進	28 自治体DXの推進	28 自治体DXの推進

基本構想・基本計画_前期基本計画（さがけプロジェクト）

・ 基本目標との関係・さがけプロジェクトの方向性

Ⅰ.「自然」の中で
「元気で健康なひと」が
「学び、育てられる」まち

Ⅱ.「多様性」を認め
「交流がある暮らし」が
「ひとをつなげる」まち

Ⅲ.「技術」を活用し
「しごとを伝え継ぎ」
「まもるひと」が集うまち

さがけプロジェクト（総合戦略）

基本構想の実現に向けて、各分野において基本計画全体をリードする（先頭に立って導く）事業を選択し、横断的に関連付け、相乗効果を発揮させることで施策を進める推進力とすることを目的とする。

さがけプロジェクトの施策を、本町の総合戦略として位置づける。プロジェクトの施策は、毎年度見直しを行う。

1.しる・みる・きくプロジェクト

情報を知る、知識を得る（知る・見（診）る・聞（聴）く）ことで学び育つ機会を拡大し、情報知識を活用する力を創る

2. 未来に継ぐ食と自然プロジェクト

自然と食、食と健康をつなぎ、元気な体と心の豊かさを実感できる生活と持続可能な生活環境を未来へ引き継ぐ

<主に連動するマニフェスト>

- 2 未来を託す子どもたちが輝く町
- 5 生きがいと健康寿命を高める町
- 7 堅実な町政を推進する町

3.多様なつながりプロジェクト

多様性を認め合い、町の中でのつながり・町の外とのつながり・人のつながりによる交流を広げる

4.拡がる住まい方プロジェクト

住む人・滞在する人の目的に応じた生活拠点の選択や生活の質の向上ができる機会を創る

<主に連動するマニフェスト>

- 1 新たな元気を創出する町
- 4 安心して暮らせる町
- 7 堅実な町政を推進する町

5.働き方Xプロジェクト

技術を活かした事業継続・生産性向上と時代に即した新たな働き方や働く場を広げる

6. 再生・継承プロジェクト

ひとが担う技術を伝える人と次世代の後継者が集って、コミュニティ機能や持続可能な自然環境を守り、未来へ引き継ぐ

<主に連動するマニフェスト>

- 3 地域の産業が元気になる町
- 4 安心して暮らせる町
- 7 堅実な町政を推進する町

・（横断する）共通目標

幸福感の向上・持続可能なまちづくり・トランスフォーメーション（DX・GX等）

【参考】

基本構想・基本計画_前期基本計画（基本目標と施策） 1

基本目標 Ⅰ.「自然」の中で「元気で健康なひと」が「学び、育てられる」まち

関係する施策が相互に関わり合い、基本目標の目指すまちの姿の実現を目指します。

自然環境に配慮した農業の推進や環境共生を重視した活動・教育・基盤整備等により、人と環境との関わりが身近になることで、ウェルビーイング（個人や社会によってよい状態）な人や町が育つことを目指します。また、子育て支援・学校教育の充実や健康福祉の支援を継続するだけにとどまらず、多くの人が情報や知識を得られることで、産業の発展や元気で健康な状態が生涯続くことを維持できる環境の創出につなげます。

全ての世代にデジタル活用のを普及し、情報が届く機会・広聴（意見を受け取れる）の機会を広げることで、生活の中で情報を活かせる人が増え、情報や知識を得られないことによって起こる格差の解消や他世代が交わる学び育つ場の創出につなげます。

<関係する施策>

① 子どもから青年までの支援充実

1-1.多様な子育て支援の充実

1-2.健やかな子育てにつながる支援の充実

② 義務教育の充実

2-1.学校教育の充実

2-2.個に応じた教育（特別支援教育）環境の実現

2-3.学校教育設備・機器の整備と充実

4.学校給食の充実

③ 生涯学習・スポーツの推進

3-1.生涯学習事業の推進・支援

3-2.生涯スポーツの普及促進

④ 人権が尊重される社会づくり

4-1.人権教育・相談体制周知の推進

⑥ 地域福祉の推進

6-1.社会保障制度の周知

⑦ 健康づくりの推進

7-1.受診しやすい各種検診（健診）の実施

7-2.歯・口腔の健康づくり推進

7-3.次世代育成のための柔軟な支援

7-4.感染症対策の推進

7-5.食育の推進

7-6.地域医療体制の強化

7-7.医療保険制度の適正運営

⑧ 高齢者福祉の充実

8-1.高齢者福祉・介護予防の推進

8-2.介護保険サービスの質の向上と基盤整備

⑨ 障がい者（児）福祉の充実

9-1.障がい児の健やかな育成のための発達支援

9-3.障がい者福祉サービスの提供・機能強化

⑩ 計画的な土地利用の推進

10-3.身近な公園・緑地・水辺の整備

⑪ 農林業の振興

17-1.農畜産物の産地化・特産品開発の推進

17-2.環境と人にやさしい農業の促進

17-3.森林の保全・育成と計画的な森林整備の促進

⑫ 4R運動の推進と廃棄物の抑制

20-1.4 R運動の促進とごみ収集・処理体制の充実

⑬ 行政経営の推進・改革

23-1.組織・人材マネジメントの充実

23-2.情報公開の推進

⑭ 情報発信力の強化

6-27-2.広報・広聴活動の充実

⑮ 自治体DXの推進

28-1.デジタルデバイド対策

28-2.デジタル人材の育成

基本構想・基本計画_前期基本計画（基本目標と施策）2

基本目標Ⅱ.「多様性」を認め「交流がある暮らし」が「ひとをつなげる」まち

関係する施策が相互に関わり合い、基本目標の目指すまちの姿の実現を目指します。

多様な生き方を認め合い、住まい方の選択肢を広げることで、コミュニティの活性化や人・地域間のつながりが広がるまちを目指します。デジタル技術を活用した新たなコミュニティ上での交流によって、今までにないつながりを生み出すだけでなく、人と人とが対面で交流できる機会の創出や、環境と人にやさしい生活基盤整備によって暮らしの質の向上に努めます。

多様性のあるつながりが受け入れられる環境ができ、様々なつながりの人が交流する場が生まれることで、地域への愛着が醸成され、地域の魅力の再発見や地域の特性を活かした産業発展につながります。

<関係する施策>

① 子どもから青年までの支援充実 1-3.健全な子どもと青少年育成の環境づくり ② 義務教育の充実 2-5.地域とつながる義務教育学校運営 2-6.こころの問題への対応強化 ③生涯学習・スポーツの推進 3-3.生涯学習拠点(総合交流センター)の 利用拡大 3-4.社会体育施設の整備充実・有効活用 ④人権が尊重される社会づくり 4-2.多様性が活かされ尊重される環境づくり ⑥地域福祉の推進 6-2.地域福祉に関わる機関の活動支援と協力連携 ⑦健康づくりの推進 7-8.こころと体の健康づくり推進 ⑧高齢者福祉の充実 8-3.社会参加・いきがいくりの推進	⑩計画的な土地利用の推進 10-1.環境と人にやさしい居住環境の整備促進 ⑪住環境の充実 11-1.多様なニーズに即した住居の整備促進 11-2.町営住宅の適正管理と整備検討 11-3.空き家の利活用の推進 11-4.災害に備える住環境の整備 ⑫計画的な道路の整備 12-1.県道等の整備促進 12-2.安全な町道の計画的な整備・維持管理 ⑭公共交通の充実 14-1.地域の実情に即した地域公共交通網の確立 14-2.地域公共交通機関の充実 ⑮商工業・観光業の振興 18-4.観光資源の管理・活用 18-5.観光振興団体や指定管理団体等の連携強化	⑲産業連携の促進と働く場の充実 19-1.農を起点とした産業連携の推進 19-2.地域特性を活かした交流人口・関係人口の創出 ⑳環境保全の推進 21-1.公害等環境問題への対応 21-2.美化運動の推進 21-3.景観の保全 ㉑町民参画によるまちづくりの推進 24-1.多様な分野における町民及び民間の参画・協働の促進 24-2.各種団体の自主的活動の支援・活性化 ㉒ 情報発信力の強化 27-1.シビックプライド醸成とシティプロモーション推進 ㉓自治体DXの推進 28-3.自治体情報システムの安定稼働
--	--	---

基本構想・基本計画_前期基本計画（基本目標と施策） 3

基本目標 III.「技術」を活用し「しごとを伝え継ぎ」「まもるひと」が集うまち

関係する施策が相互に関わり合い、基本目標の目指すまちの姿の実現を目指します。

古くから伝わる町の伝統・文化（芸術・文化財等）の継承や各産業の技術（事業）承継、持続可能な環境や施設のマネジメント等を進め、人から人へ伝えられる技術を未来へ伝える継ぐことを持続できるまちを目指します。さらに、対面だけでなくデジタル技術による伝統・文化の発信や交流を進め、町内外の伝える人・まもる人が集う機会づくりにつなげます。

また、災害を最小限に減らす組織の維持や基盤整備に努めるだけでなく、災害があったときに、町を復興する技術力の向上やつながりによって人を守る地域づくりを進めます。

<関係する施策>

①子どもから青年までの支援充実

1-4.子ども・青少年の安全確保

⑤歴史・伝統・文化の振興

5-1.芸術・文化活動（文化イベント）の充実・支援

5-2.文化財・郷土の偉人の功績の継承・活用

⑥地域福祉の推進

2-6-3.公的扶助制度の適正運用、生活困窮者の支援

⑩計画的な土地利用の推進

10-2.治山・治水対策の推進

⑬上下水道の維持・充実

13-1.安全安心な水の安定供給

13-2.良好な衛生環境の確保

⑮防災対策・危機管理の推進

15-1.消防組織の活性化

15-2.消防施設の整備充実

15-3.地域ぐるみの防災・国民保護の推進

⑯防犯・交通安全対策の推進

16-1.防犯対策の推進・強化

16-2.消費者問題・暮らしの問題対策の推進

16-3.交通安全意識の高揚

⑰農林業の振興

17-4.多様な担い手等の育成・確保

17-5.農林業生産基盤整備の推進

17-6.農産物生産性向上の推進

⑱商工業・観光業の振興

18-1.新産業・新規起業・事業承継等への支援

18-2.商工業経営の安定化・活性化の促進

18-3.企業立地の推進

⑲産業連携の促進と働く場の充実

19-3.働き方改革と雇用の促進

⑳4R運動の推進と廃棄物の抑制

20-2.ごみ不法投棄の防止

20-3.し尿処理体制の充実

㉑脱炭素・地球温暖化防止対策の推進

22-1.脱炭素・省エネルギーの推進

22-2.再生可能エネルギー等の導入

㉒公共施設マネジメントの推進

25-1.計画的な公共施設等の管理

㉓財政の健全化

26-1.健全な財政基盤の確保

26-2.広域行政の推進

㉔自治体DXの推進

28-4.情報セキュリティ対策の強化

計画策定後の考察



FDを活かし続けるための課題

仮想将来世代の意見を反映するのは

1. 計画策定のときだけ？

計画策定は5年、10年に1回
未来の利益は、常に考えていないと薄れていくのでは…
年次・定期で実施する**“評価”**に未来人の視点が入られるか？



未来の利益を
継続して
優先できるか
…

2. 未来人の意見を定量化できるのか？

計画に反映するという『具現化』はできた。しかし…
結果がでているかを判断する評価（『定量的』評価）に
未来人の視点はあるか？

ご清聴ありがとうございました。

